

# えんたくつーしん

No.5

「絆で織りなす 住みよいまち上京」へ

## 次期上京区基本計画の策定に向け 令和2年度 第1回上京区まちづくり円卓会議 開催！

現在、上京区では、令和3年度から5年間のまちづくりの指針となる「次期上京区基本計画」の策定に向けて、区民の皆様をはじめ、学生や、中小企業家等の皆様から、多くの御意見・提案をいただきながら、策定の取組を進めています。この度、次期上京区基本計画策定に向けた検討等を行うため、「令和2年度 第1回上京区まちづくり円卓会議」を開催しました。円卓会議は上京区基本計画の推進等を図るための意見交換の場で、区内17学区の代表者、NPO、大学、公募委員等で構成されています。

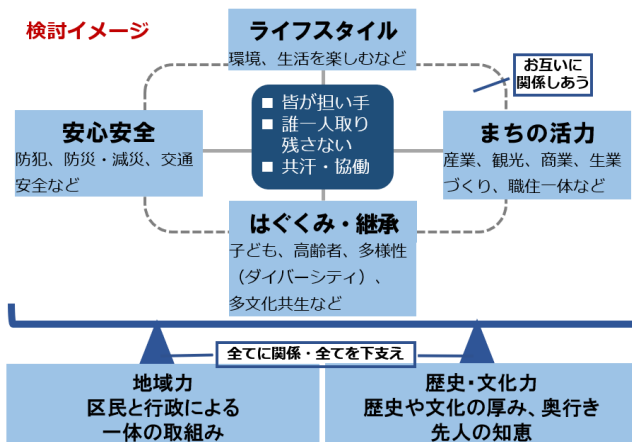
### 今回の開催手法

新型コロナウイルスの感染予防から、4部会の日程右記の通り分け、ZOOMを使用して開催しました。委員には事前にZOOMの使用ができるかどうか確認し、使用できる方は自宅等からの参加、それ以外の方は区役所の会場でiPad等を使用して参加してもらいました。区役所会場はソーシャルディスタンスをとって設営しました。

### 開催日程

7月28日	安心安全部会
7月30日	まちの活力部会
8月3日	ライフスタイル部会
8月4日	はぐくみ・継承部会

### 検討イメージ



### 意見交換のテーマについて

次期基本計画策定に向けての意見交換として①コロナ禍における生活、地域、価値観の変化について「気になっていること」について、②各部会検討資料3の方針1～4について付け足すべきこと、修正したほうが良いこと等について意見交換しました。

各部会の資料3と摘録 → <https://www.city.kyoto.lg.jp/kamigyoe/page/0000273870.html>

方針1 地域力の維持・向上に向けた取組の推進  
方針2 文化と伝統を大切にするまちづくりの推進  
方針3 地球環境にやさしいまちづくりの推進

- 

人とのつながりをどう結ぶか

- 価値の多様化
- 価値観の多様化

どのように  
I地と全体の  
間に度えようか

 $\square \wedge \square$ 

町内会、自治会

↑  
結構、推道

好きなもの ) 多様化  
価値観 ) 違い

個々の趣味  
でも良い

伝線机  
環境  
健康  
趣味

邦外発信 < 内へ向に発信  
人々のやり易さ。

自分の生活

——→ 地球環境

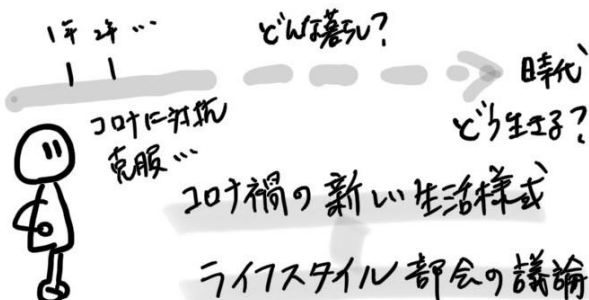
午法

オンライン活用

一定の共有  
つなぐのを感得のやり方を考える

トライ

② 冗余  
安全性保障



方針1 「共助」「近助」を根幹とした「自助」「公助」との連携  
方針2 安心安全なまちづくり  
方針3 空き家対策等の推進

- 大窪 健之 教授  
立命館大学理工学部



1. コロナ禍で取組例をどう再定義、精査する  
→ 新しいアイデアが出てくるのでは

2. 上京ならではの資源  
歴史文化に裏打ちされた資源

どう災害時にいがか

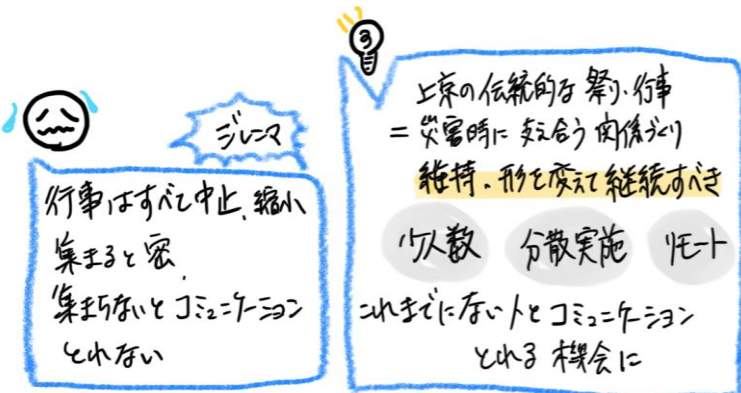
外国人、高水口者

幸社 = 物資の支援拠点、  
(自宅・分散避難)

- ### 3. 伝統・絆の良士をいかに

新しい交流の形  
安心安全を支える

より安全度の高い  
論が、



## まちの活力 部会

- 方針1 地域住民の暮らしを担う身近な場の活性化  
 方針2 地域産業や地域企業と連携した活力あるまちづくり  
 方針3 ヒト・コト・モノをつなぐまちづくり  
 方針4 上京ならではの資源を活かしたまちづくり

コロナ禍 → 顔の見える関係  
 身近なコミュニティ  
 「価値」再認識

吉田 満梨 准教授  
 立命館大学経営学部



- ・コロナの影響は人によって違う  
 →一括りの議論は成り立たない
- ・リモート会議の出席率は高いが、コミュニケーションの質や団結力は落ちている
- ・顔を合わすことの重要を感じる
- ・インターネットに乗れない人を切り捨てない
- ・観光拠点：寺・空き家×地域・行政・NPO
- ・糸へん業界の拠点→ビジネスマッチング
- ・卒業後学生が京都に残らない  
 →企業が地域活動へ参加することに理解する必要
- ・各団体が連携し各々が持つ情報を集約、発信
- ・これまでやっていることの底上げ

(a) 地域内のリアルな交流 ← 強い結びつき

地元の販売場  
 店舗・商店街  
 見合う機会

地域・文化・資源  
 (歴史、まち、土地、習俗)  
 再発見

(b) 地域外の人々、若者等との接点拡大 ← 弱い結びつき

リモート等のツール活用  
 地域に肉付する  
 内口を拓く機会

既存の活動  
 情報発信

(a) × (b)

リアルな交流  
 オンライン  
 リアルコミュニケーション  
 地域資源連携

「発信」 → 増生  
 → 地域外の  
 定住者  
 事業者  
 将来の地域産業  
 担い手の育成  
 まちづくり

## はぐくみ・継承 部会

- 方針1 多様な人が地域で活躍できるまち  
 方針2 地域で子どもを育むまちづくり  
 方針3 高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり

ソーシャルディスタンス  
 (社会的距離) = 物理的  
 距離

社会的「孤立」深めた

おっちゃん様：自由な生活  
 コロナが 課題が強調された

- ・障がいある人はどう受け止めているのか
- ・行事の中止→復活はエネルギー必要
- ・行事のない寂しさを味わい、来年どうするか考える機会にする
- ・在宅勤務で家庭生活：虐待、DV増加
- ・子どものストレス取り除く取組み必要
- ・居場所づくり：空間、役割、生きがい
- ・オンライン活用でつながりやすい人も
- ・高齢者にとって誰か傍にいて暮らし、生き方代わる←ソリデール事業



中井 歩 教授  
 京都産業大学法学部



孤立状態  
 地域行事が  
 消えよう

怒り喜び  
 お互いぶつ合うことが  
 「見える」ようになる

居場所・出番 (役割) = その人たちの見える化 ) つながり  
 楽しみ、悲しき共有

関係性をつくる ← 見える関係性にする  
 知恵、ノウハウ

子どもたちを育むことが  
 可能

見えないことを見えるようにするのが大事

## ライフスタイル 部会

コロナと  
共に生きる → どうやりくりするか  
→ 最適な生き方を何? を探す。

- ① ICTの活用 ... 孤立化を防止
- ② 地域力の低下 → 各々の地域を力づける  
見守る
- ③ 若者(内・外) 地域でより生きてもらう  
工夫の余地あり ← 一緒に生きていく
- ④ 多世代、世代間対等、対等な学びの場を創出
- ⑤ 「伝統文化」どう育む、新しくする?  
→ 私たちが担い手になる自覚も
- ⑥ コロナ暮らし = より良い生活にする価値



## 新川議長の総括



新川 達郎 教授  
同志社大学大学院  
総合政策科学研究科

## 安心安全 部会

- ① 離れていないといけない  
近くで助け合えないといけない / 判断  
リモートは状況
- ② 地域でどう、自助、共助、近助をより創出するか  
通う仲間  
対面
- ③ 地域の安全  
本質の意味で  
お互いの見守り  
一緒に地域の安全を  
築いていくという活動の定着

- ④ 学童の安全・安全をともに守っていく

可能性あり 外へ  
・地域と 内側から  
↓  
どう地域にお迎えしていくか

地域で迎える仕組み  
外へ地域の人になってもらうこと  
地域  
の安全

## まちの活力 部会

- ① いまより暮らしには、まちの賑わいが必要
- ② 地域の「力」や「宝」が結ばれていない

機会 → お互いの知恵を  
軽いネットワークの  
選択肢、蓄積、蓄積  
マッチング

- ③ 文化・資源(歴史、まち、路地、宝、家)を活用  
活動の拠点、出会いの場：新しいものを  
生み出す

まちの活力 コロナに耐えうる力が発揮できる  
まちが若い人から高齢者が元気に  
暮らせる事業、生活が成り立つ

## はぐくみ・継承 部会

生きがいをどうつくるか

- ① 子供、高齢者、外国人、障がい者  
様々な立場の人が主役になる
- ② 町で活動できる場所、居場所 たくさん必要  
地域の(内側)の中で暮らす = 地域の力 ↑
- ③ 個々の希望に合わせて暮らせる地域  
お互いの理解  
支え合う社会) 一緒に生きる

上京にある地域の資源  
(歴史、伝統文化、古くからのもの  
活動する地域団体  
町会、社寺)

未来の希望を  
叶える財産

## お知らせ

### 令和2年度 第1回 上京! MOW

開催日時: 10月27日(火) 午後7時~9時 ※ZOOMにて実施

内容: (1) 次期基本計画の将来像「ライフスタイル」「安心安全」「まちの活力」「はぐくみ・継承」をテーマに新たに  
取り組む事業アイデア・意見交流, (2) 新型コロナウイルス  
感染症の影響で、困難に直面している様々な課題解決に向けた  
事業アイデア・意見交流 ※募集人員上限ありのため、事前  
申込制 (メールにてZOOMのURL等お知らせします)

### <プログラム> ■ 上京! meet up

- 19:00~ 開会、区長挨拶
- 19:10~ 支援事業MOW枠の説明、  
進行説明、テーマ募集
- 19:30~ ワークショップ 1
- 20:10~ ワークショップ 2
- 20:45~ 発表
- 20:55~ 新川議長の総括
- 21:00~ 閉会



京都市  
CITY OF KYOTO

お問合せ 上京区役所 地域力推進室 企画担当

(☎ 441-5029 FAX 432-0566 ✉ kamigyo@city.kyoto.lg.jp)

令和2年12月発行 京都市印刷物 第 号